

電力技術研究会シリーズ IT専門部会

平成16年5月、発足以来11年目を迎えた情報制御通信専門部会は、IT専門部会に名称を変更しました。これは、効率的かつスリムな設備構築のための情報・通信技術、および工事・運用・保守面のコストダウンに向けた技術開発へのIT（情報技術）の適用を視野に入れたものです。

平成16年度は、以下の4項目の活動方針を掲げて取り組んでいます。

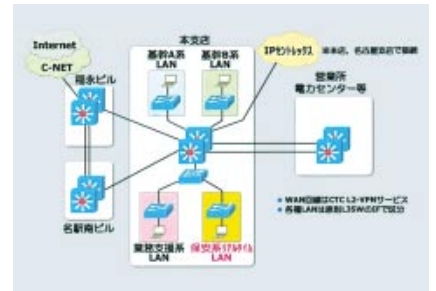
- 価格競争力強化のための技術開発
- 新規事業の展開に資する技術開発
- 総合的なエネルギー供給に関する技術開発
- 基礎および将来技術の把握

また、平成15年度には3回の部会を開催しました。平成15年度の第30回部会では、「電力におけるIPネットワークへの取り組み（電子通信部技術G）」に関する発表を行い、活発な議論および意見交換が行われました。

以下に発表の内容を紹介します。

〔発表概要〕当社通信網のIPネットワークへの移行は、“電力保安用IPネットワーク”および“電力給電用IPネットワーク”に分けての構築を予定しており、各々のネットワークに関する技術検討状況について報告がありました。

委員からは、「電力会社では情報の送受信箇所がほぼ決まっているため、これを考慮した通信設備を選択すべき」、「情報・通信機器の技術進歩は早いため、従来機器とは異なる更新を考慮すべき」等の指導・助言をいただきました。



第1図 電力保安用IPネットワークの構成概要

平成16年度 火力部門技術研究発表会

1 発表会の概要

火力部門技術研究発表会は、本店発電本部火力部、火力センター（含む各事業所）および電力技術研究所、エネルギー応用研究所における火力関係研究業務の成果発表を通じて、火力部門における研究開発の推進、成果の共有化ならびに技術力向上を図ることを目的に平成13年度より開催しています。

第4回を迎えた今年は7月16日（金）、本店会議室において実施し、火力部長はじめ、50名を越える聴講

者が聴き入る中、7件の研究成果が発表されました。

内容は、効率的な業務遂行を支援するためのシステム開発に関する研究や設備の延命化を図るための余寿命評価手法に関する技術開発などが披露され、聴講者から各々の発表に鋭い質問や意見が出される等、活気のある発表会となりました。



発表会の様子

2 発表内容

	題 目	発 表 者	
1	火力部門各種システムの活用に関する応用研究	火力部 技術G	疋田 昌浩
2	乾式電気集じん機放電極延命化工法の開発に関する研究	火力センター 工事部 環境設備課	鈴木 勝
3	排煙脱硫装置内面ライニング余寿命評価方法等に関する研究	火力センター 工事部 環境設備課	箕浦 直人
4	ノイズレス作業用音声伝送装置の開発	電力技術研究所 エネルギーエンジニアリングG	林 道也
5	ガスタービン動翼の実機運転下における劣化傾向の研究	電力技術研究所 原子力・材料G	小林 大輔
6	石炭灰混合プラスチックペレット実用化に関する研究	エネルギー応用研究所 環境技術G	高村 幸宏
7	据置用密閉型鉛蓄電池の劣化特性に関する調査研究	エネルギー応用研究所 環境技術G	佐川 朋子